近道子和歌集　上

ル利3
2837

ル 呂 3
2897

君乃代ハ千代乃古道ひろくして猶萬
代乃池乃亀ハ鶴乃岡よりもひとかね
四海乃波しつかにして納まるをひく
時なれハ賤きも貴きハいふくを
あさちいと氣乃毒ハ下れにき
を難波津淺香山の言の葉よ

心乃種とのするしれハ聖人ハ
生れなから賢く歌人ハ居なからにして
名所をしるとてこそ蒙昧の吾ら
これハ更に十方なし日川乃玉川
乃水流れてわか乃國々ともにさても
綴りし於く此一冊不思議ニ導れハ

遼遠東南西北数里の便を求（レウエン トウ ナン セイホク スウリ タヨリ モトム）
予思ひも一人乃心八千萬人の心なり
我よひかしき盲闇（ミウアン）の杖（ツエ）よ截（キリ）て名所
近道乃和歌と名付て梓（アツサ）よ言傳（コトヅテ）じ
須礼同者（ジユンレイドウシヤ）の土産（ツト）よも成んと筆を
やとひぬ

休白

名所近道和歌

五畿内五ケ國

山城　州別　又雍州

神楽岡[illegible]粟田志ら川や
山科音羽岩倉の小野
桂川梅津太井やあらし山

并岡（ナラビノヲカ）ニ松尾乃やま
芹川や千代ノ古道かつら川（桂）
戸難瀬乃瀧ニ落る雄蔵山
野々宮や亀山清瀧栂尾や
月輪の峯鳴瀧の川
廣沢や大沢乃池きぬかさや（衣笠山）

平野小野りさて位山
鞍馬山貴布祢大原ニ静原や
勝清ニ清加井乃志ニ
矢背乃里をひえをしたは(る)
八塩乃岳しさて松ケ崎
御手洗（ミタラシ）やせミ乃小川や神山や

日陰乃山やさて二葉山
菅原や木のもとの里にたちへや
許にきさはつかし(羽束師)の杜
まつ乃小野やうら稲居とや
駒もとし衣手乃森
紫野卜野(ミメ)ひきさき御(ミミ)遊(ユユ)園(シカ)

雲林りふ寺そうの山
龍ゐ井や懸(アガタノ)井戸な滋野(シゲノ)井や
堀川乃浪中川の毛
鳥羽竹田秋の山へや淀川や
美豆(ミツノ)御(ミ)牧(マキ)や大荒木(ヨアラギ)松(ノモリ)
八幡山宇治山三室真木の嶋

楢(ナラノ)小川や大倉(グラ)乃さと
伏見山日野山木幡ね乃やま
岩せ乃もりに笠取乃山
稲荷山深草のさと藤乃もり
桂川のちし栗栖(クルスノ)野の里
京極や久我乃渡や山崎乃

神なひの杜まて水無瀬川
西乃岡小塩乃山や長岡や
大宮の里や坂井ノ清水

諸国名所

大和 和州

大和なる立田泊瀬やみむろ山
吉野く山やうつる於乃や波
大和なる小川はしや三輪の里
三笠の山やうきま雲乃山
大和なる片岡山や辰の市
賣るの清水さる沢乃いけ

九

大和なる奈良の都や春日山
先いもの杜や西乃大寺
大和なる金ケれ嶽や紅葉川
わろ乃ろふけるよ乃小野

河内 河州 又内州

河内なるふまませはし山や生駒山

井せき乃山や秋篠かん山

和泉 泉州

和泉なりける所のちぬや信太のもり
月もうつ井乃浦そさかしき

和泉なる信太乃杜やよこ山や
横のつゝや松むしの里

摂津 摂州

津国や難波入江のみほ乃うら
生田杜や布引乃たき

津国乃長柄乃ちてや漆川
吉野長野や淀乃つゞさし

津国のまちかね山や小屋乃池
住吉乃濱芦の屋のさと

津国乃雲の松原あくた川

桜井の里ころしのまち
津金乃みとり比恩や上野やま
小野とはゝかり草刈の里
津国の片野の原や水の江乃
吉ぬる家ふゝ津乃濱松
東海道十五ヶ国

伊賀 伊刀 とこしてゐふゐあし とゐきふみとり
伊賀国こしきその柱や柏野や
恋の湊ふゆのまちその森
伊勢 勢刀
伊勢国ゆくとさかこうらや赤浜や段
東乃さつや是ゆひ乃濱

伊勢国ふたみの浦や二見ヶ岳(?)
日永乃さとや川〃の関
伊勢国鞍乃嵩やまやしき
御裳濯川や山田度會
伊勢国千尋乃海や夢せ乃浦
洽ヶ川原やゐ淀乃わ波

伊勢国千鳥濱や一志うら
小野小阿井や若松うら

尾張　尾州

尾張野乃鳴海星崎熱田乃宮
わたそ乃森や宵月乃濱
尾張なる夜寒の里や松風乃

里ふ稲見れ里も忍ぶ子

三川 参州

三河路の花菖蒲や八ツはし法

矢作の里や二むら乃さし

参川松ゟの汐見坂ちるすゝき

まころの里志れ塚有明乃月

遠江 遠州

遠江白菅湊そろし庵さし

濱名の橋や恵乃入江や

遠江稲さやそ汐や引乃れや

天龍あざり海乃浦風

遠江佐夜中山菊川や

大井川原よりゆくての山
遠江白鳥こそ有る鷲坂や
三日野原かみかけ川乃さと

駿河　駿州

駿河なる府宇津乃山色やまど濱や
原嶋の川風こそし乃まて

駿河なる三保乃まつ原清見寺
吉奴見のとるや興魚いと濱

甲斐　甲州

甲斐國都出のいそや塩乃やま海
たかね乃山より龍乃甲斐

伊豆　豆州

伊豆ハ三嶋足柄はこねやま

阿妻乃小野や走湯の山

伊豆国いづのね山やちくさ葉やま

井せきれ山やちゞきれ山

相摸 相州

相摸ハ澁金山や清ガ杜り

由比乃濱風こゆるきの杜

相摸ハ腰越が原星月夜

八金山行乃ちゝれ関なり

相摸ナル足合れ里まりこ川

鴫立さわや小余綾乃磯

武蔵 武州

武蔵にハ秩父乃居や志ヲ川や

庭の関に角田川あり

武蔵乃ハ浅山玉川ちらぬ風ま

ほり兼の井やむさし山乃さと

武蔵なる立ぬく野くや武蔵野や

むさ乃居すり荒藺(アラヰ)崎なり

上総

総州(ソウ)

上総にハ水上にころはうの海

千里乃濱に枚のゝ海なり

下総州

下総に浅上原しや葛飾(カドシカ)野

まゝ池乃わたゞつぎはし

常陸

常州

常陸にハ鹿嶋つくば祢足雄山

高乃か原にさく櫻川

常陸にハつくハ嶺やみなの川
小野の清水こゑせ川あり

東山道八ケ国

近江 江州

まつ江州松井乃清水望月駒
真野の入江や志賀花園
近江路志賀の都やこつら浦さ乃

鏡のさとやまる月の里
まつ江浜ぬれぬその森や近濱す
あら川の原や野村乃さと
まつ江勢田の長橋乃山やゐる渡や
田鳥川舟まくらのさと
まつ江まくらハ乃さとや石山や

志のと八沖に比えの嵐
近江なる鏡磨乃急志のゝや
長乃山や三井寺乃子
近江坂本をけ山や武士(モノノフ)まん
新田乃宮り松本の里
近江なる雲見ぬ小野や姥ぎぬ

小野ちかなり草刈の里
近江なる横川野洲川三津大津
田上嶽井逆ゑ乃うら里
近江なる走井のま手向山
屏風乃うしやまくらやま
近江なる万里本の杜井杉本山

勢田乃とゝろりや水上山を
近江成須賀楽山て比良乃山
鳥籠山より胡辰をゝ山

美濃 濃州

美濃成何ゝ妻渡ゆ乃世天
旅河野島やミゑく中山

円
野上里笠縫里稲葉や波
寝覚里や垂井清多

飛騨 飛州

飛騨国二部乃川凡をゝわ山
新日乃雲や淺水乃ちら

信濃 信州

信濃なる須賀乃荒野やをと海
木曽路乃橋更科乃やま
信濃なる戸隠山やあさ日のやま
その原伏屋たゝまをそ乃山
信濃なるつくまの岩や筑摩川
田毎乃月もをはす乃やま

上野 上州
上野尓在乃岡路戸根川登
黒髪山や伊ゆゝ舟さし

下野 野州
下野や室乃八嶋尓二子やま
揚グ池尓黍須れゝ杉ぐ

下野や標茅か原伊吹山

黒戸乃濱須走湯乃湧

陸奥　奥州

みちのくの緒絶橋やうらうの松

神の濤や名取川乃せき

陸奥や思塚乃杉かて衣川

大隈（オホノ）川やたましの澤

陸奥や挟細布名取川

野田乃玉水下紐乃関

陸奥や玉江乃たしか浦

かさえの山小武隈乃松

陸奥や小嶋松嶋ましの川

葉かくれ松や文殊ゆくちう
陸奥のはてなれ松に安積(アサカ)座し
そとのはまつやうらやゆくく

出羽　羽州(ウ)
出羽国袖のうら浜きさかたや（象潟）
出羽国をところの湯殿山や宿蛸やまし
最上川ぜにしろ月のき
桐漆の山におやくの関

北陸道七ヶ国
若狭　若州
若狭に後わきの小浜泊舟
黒つゝ墨立山やあ紙やまし
越前　越州
越前や木の目野府にかへる山

中山や家山も峠てる

加賀　加州

加賀国荷乃うや志ら山や

綿乃やまり水乃笠乃山

能登　能州

能登国岩瀬乃まくら錦川

文殊山やかすみたなのうち

越中　越州

越中に椿坂乃松やかゝりそうき

越乃湖二上乃山

越中や綴乃峯ゝ　礪波やま

本葉里に志をり乃浜人

越後 同

越後には岩木乃山岩や布川や
さて姫川とよむ米山

佐渡 佐州

佐渡潟や那ら乃葦和の浦風や
屏風が岩や鷲乃住山

山陰道八ヶ国

丹波 丹州

丹波には村雲山や於江山
篠田の山に炭焼乃小野

丹後には鋼金山や手寺山
鞍乃山に笛ゆきの雲

丹波ニハ入佐乃山や杜や坂
吉葉乃山やゐ倉乃山

丹後　月

丹後ニハ天乃橋立よさ乃海
夕日乃浦や玉嶋のさと
丹後なる袖しの浦や立乃杜
会稽川ニ衣乃杜かつら

但馬　但州

但馬ニハ二見代浦やとよ岡川
入佐乃山より宮乃ちくさ浜

因幡　因州

因幡ニハいなそ風やかなかし

袂乃ほ多石見とりかり

伯耆 伯州

伯耆尓ハ雲乃うき嶋大仙や
風末乃里ゟそ雨の月

出雲 雲州

出雲尓ハ杵築る比関とこか比関
佐田乃御風乞比川波

出雲ゟハ当神秋の川原や氷ゆらの
吉野神門のうらもあり

石見 石州

石見尓ハ高角山や渡つき座り
益乃うら尓すゝの里なり

丹波 丹州

丹波国なら波こ鳴行舟や
靹が嵜に三鳴なるなり

山陽道八ケ国

播磨 播州

播磨に八野宮中の清水なりける

志賀乃市や尾上高砂

美作 作州

美作やひ多しの杉乃まつれしを
ゑかたまひ山に久米の皿山

美作や勝間田乃池水無月の
名けくまた田の池をうやむ

備前 備州

備前より広く渡りて帆風にて
牛窓もまた虫明乃せと

備中 月

備中や高倉山の神楽夜や
細谷川も澄る月の里

備中や吉備津宮中山行の皇后宮の豫や撥山
備中やさと中山松山やさらに宮もとの月

備後 月

備後にハ八浜やの揚りに霧哉や
月ならし花森宮王杭乃山

安藝 藝州

安藝国出合乃浦乃婆乃松
波乃那戸や出方黒木乃鳴
周防　周防　周列
周防国大鳥に乃え戸室積や
竈門岩国安武（アフ）祝（イハヒ）嶋
長門　長門　長列

長門にハ赤間関や臼井のた
壇浦とありうさきれ浦風
南海道六ケ国
紀伊　紀伊　紀列
これ国や和哥浦上に玉津島
紀乃川上や藤代乃松

紀伊国の名草は浦や由良風や
富蛸山引いとぐら杯
淡路 淡州
淡路丹ハ淡路の絵嶋水寿山
たのら絵嶋丹野と嶋まあり
阿波 阿州

阿波国ゟ和の浦や里乃か波
揺る池や鳴渡なりけり
讃岐 讃州
讃岐丹ハ屏風の浦や綱の浦
続うら山丹琴ひき乃松
伊予 予州

伊豫国いよ乃湯桁やうつの浦
矢乃祢山や岩末嶋あり
土佐 土州
土佐国とされ畑山むろれとや
名ふしの山もまさに物セ
西海道九ヶ国

筑前 筑州
筑前や蘆屋や宗像名元川
橿ゐれ宮や板志き乃松
筑前や鵜無箱崎志賀乃嶋
竈門山ゝ荊萱乃せき
筑前や穂波乃里ふたらかぞ

唐が原にはいきの松たり
筑前の三笠の森や思ひ川
志らきの山や大和深川
筑後 月
筑後には足代山や高良座ま
一夜川には名りきのさと

筑後には和の関かりのゐ矢川
と旅の野くやミ池なこあり
筑後にはぬまセれ山や玉霞れ
まもしれまいしき琴引の文
豊前 豊別
豊前には柳の浦や文字の関

宇佐八宮のやとの長濱

豊前国ハ鏡路乃あ濱之の浦や

業津山下ハ笠結乃嶋

豊後国

豊後国ハ三保乃浦風富緒や

姫嶋ふ竹嶋とゆかり

豊後国ハ湯乃嶽山や佐賀乃関

海島之濱松うさの神

肥前 肥後

肥前国ハ松浦潟雲ゐる嶽

生の松原やあ雨の沖

肥後国ハ玉嶋川やかミやま

田中川社の松浦さ衣姫
肥前には峰子乃流尾濃ふ
中振野人や諦越乃野之
肥前には松浦乃関谷風乃海
墨髪山や志ゝ川乃ま
肥後月

肥後国和備山やひゝ川や
涼川玉くり玉濁りの川
肥後安宇報乃小鴻母ゝゝ鴻
野坂心し小八代乃いき
肥後国万里の枝乃母し小舟
そらそれ川や松風乃関

肥後国かゞ播川やきくち川

長次腹赤らつきなり

肥後国洞乃らゝや風流志波

鼓乃瀧やゆそ乃山まて

日向　日州

日向に住部也は森や櫻嶋

神路は沖に茂乃森あり

大隅　隅州

大隅に後瀬乃山やあふさゝ波

夕暮の実行りくり宮り

薩摩　薩州

薩摩に八重乃に嶋に行の志波

おもふ事みはてぬ人のせと
障子みは不知乃中事み霧晴や
入佐乃山よりも明乃月

さ波　さ別

さ波みそさ波れ撫かや衣志波
うら紀乃浦や雪乃詠なり

對句　對別

對句みは神路乃山や清芳山
百済つくしらぬ紀乃血門
對句みは春とみへと葛城山や
風流なる行哉乃つゝき

同名之名所

久米路橋(クメヂノ) 大和(チ) うつゝにやとてもたえねむかしより久米の岩橋夢にしも渡り 師兼

同 信乃(於) 埋木は中虫むといふめれとくめちの橋は心してゆけ 拾遺

山井 近江(摂津) めつらしやむかしの山の井は花うつろひて影をそふらむ 同

同 陸奥(古) 浅香山かけさへ見ゆる山の井のあさくは人を思ふものかは 左江安

真野 大和(ま) みくりすさむ浦にて萩原のなかをわけてたそかれにまつかりそめの人 俊頼

真野 摂津(ナ) わきもこか袖ともなのにまねくらむこすけかさきすてきかなり 家兼

同 近江 うつらなくまのゝ入江の浜風にをはななみよる秋の夕くれ 俊頼

同 陸奥 まけ侘て以て里ともちかけれとみちのくまのゝ萱こめてより 家長

松ヶ崎 山城 方角抄云一条より北里斗に旅所あり八幡宮の毛衣を待る

同 近江(於) 千とせふる松か崎にはむれゐつゝたつさへあそふ心あるらし 元輔

待乳山 同 たれかまたまつちとそいひしとしへぬるまつちの山又人ゆけくむふ人もなし 実定

月

松嶋

松賀浦

月

吹飯

月

紀伊 丈
うきもさらに衣ほしてしほがまの山すそのとまくらめぐる狗 安藝

陸奥 反歌
松志まやをしまのうらに袖ぬれてぬかしのかたやせし
あまの衣袖くちくくいつまでも 守之

月 勅
よしやあまの風とかひなき秋すてく
月みてわくす松のしほ波 成茂

サヌキ 反歌
松山の松のうら風ふきよせはひろひてなしのえにこそれ 定頼

イツミ 千
さ夜くのあま浦井かしにむかとつきて
後拾
みをしほいそかる月のさやさか 家基

タンコ 後拾
旅たてをとしきれぬけるのさよかきるもちかくもさゆる月かげ 衣笠内大臣

鏡

月

朝山

月

秋津野

月

イセ
おくしもけふあまのかこのまより出きえるるほもあの月 親房

タミニ 風
夕月まよれかつなかるをまくしは
夕されのかけてきてき絶 兼輔

山口 新古
あさひ山まきのけくねあけかのよさりし松うちのきえ舟 資朝

近江
わすはきす秋日はさよのひけくさとよのあかりはかし聞へし 輔親

越中 続千
人の世はみかひてぬれと秋にて行か
わりのきはさきあさむ秋 後鳥羽院御製

大和 丈
みよしのくおつのくやのゆくくるをいくせさなてか神さひあらん 為藤

佐野 大和
続古 こまとめて袖うちはらふかげもなし さのゝわたりの雪の夕ぐれ 定家

月 上野
同 夕さりふきちる舟ゆくかとすめり てみれの弱はかりくもくも 後鳥羽

月 ミツイ
又 詞かるむさしのゝ月にみをさせ忍 はらくとそふれちる雪 隆祐

佐く ヨカ キイ
玉 積風乃さむきを鵜けとさ乃にほ このん宮をさぬくくさましを 赤人

三室 山ロ
続古 玉くしけ三むろと山乃さねかつら さねすゝのふわりとみ雨しや 大鑑

戸 山ロ

三室 大和
全 三むろ山のみちにしこ人の 夜のとくさあけしさわりく 経信

三笠山 大和
於 みかさしても山にくさも雪りかり 名月夕ひかりさんおほうせて 豊臣

月 チクゼン
あやしくもわきあれ夜と三つ代 みかさ山と人おかりまて

千尋濱 イセ
拾撰 いせ乃うみのちいろ乃濱ひろひとも とい何てかひかある今 敦忠

月 イキ
於 万代とみえ入りのいさ乃月かれ ちいろ乃濱ぬまさこひより 元輔

三津 摂津
新古 つまことをうのひろしく人ふとも これ乃浜にまちこみかん 憶良

月 近江
新後古 さゝ浪や猪のひとつのえ母ふしも かもとなれまし七乃浜祢 後恵

三嶋　摂津

ひかりの中も越てこそ流れゆく川
わくらば人のたちよりきもせぬ

円　イヅ

十六夜日記
あはれとや三島の神の宮柱
たゝこゝにしもめくりきにけり

円　イヨ

三島江をよみ
天の川苗代水にせきくだせ
あまくだります神ならは神　能因

三嶋野　越中

わかれ
鶯もこのやられてむすぶやらぬれ
寝るもまの白ふ宮いふりて　為家

三穂　スルカ

清見かたくもまかはぬ波のうへに
月のくまなきみほの松　板鳥羽

三尾　近江

さゝ浪やくそのそま山わたして
氷も色もやうさぶられ　家隆

義吉野　大和

チ
みよしの花のさかりをけふみれは
こしのしらねに春風そふく　俊成

三吉野　武蔵

みよしのゝたのむの雁もひたぶるに
君か方にそよるとなくなる

白川　山城

新古
なれなれてみしはなごりの春そとも
なと白川の花の下かけ　雅経

円　陸奥

後拾
都をは霞とゝもにたちしかと
秋風そふく白川の関　能因

円　セツ

後拾
ちりぬれも…白川の
かくまて…　上加妹

塩竈　山城

古
君まさて烟たえにししほかまの
浦さひしくもみえわたるかな　貫之

同
陸 千 塩竈の浦ふく風に霧はれて八十島かけてすめる月かけ　清輔

志賀の
近 新古 さゝなみや志賀の浜松ふりにけりたか世にひける子日なるらん　俊成

志加。
勅 [illegible]

比礼振峯
石 [illegible] 月かけ [illegible]

比良山
ち [illegible]

千賀浦
[illegible]　為信

千賀塩竈
陸 続後撰 [illegible]

音羽山
山 [illegible]　慈円

同
近 古 [illegible]　忠岑

小倉山
山 続後撰 大井川 [illegible] 小倉の山も [illegible]　定家

小倉峯
大 新古 [illegible] 小倉の [illegible] 立田山　同

小野
山 [illegible]　貞時

小野

小野 江殺

神而

備

円

神嶋

円

イセ 若 いきみてこそすゞ信すゞしいせの海の
そのくらえ江の桜乃くゝ凡 忠然

ヒタチ 弘千 ひたちあるを涼みまさき露くさ凡
えへしい的のそくみそさけり 朝光

大 万 只志くしあて朝良らみ乃るひ乃
国ハ詠さひてせふうらん 大信

丹波

備中 殊 神路の月の志ろ本うけまくも
うしてきれ代のためしとそうら 道実

イキ 後右 うき中をかけていのん神志海や
いそ中のうし凡月の志うやく 為円

鏡山

円

鏡山

金ノ嶽

金ノ崎

斤思

山 山科のくさ凡山ふすく哉乃
太ゝやへハゆきつらん札みん

ブゼン とよくみのくさ凡宗岩とたて
くれはのくもしますてとさまされ

近 於 花の名をとうてなめようこゝ山
きよう院のかけやさゆかと 光介

大 千 長くさめんきあろこを汲わとや
やまをもてゝせ法乃どうしひ 敦家

ブゼン きこ行ぐす金れみさ頭のつさ拾
長絶も涼ふりくト七すそれに 美重

山 良 くさ思れもくの志んやふ秋るれれ
附名まゝぞ人ふ行くの上ふうさ 越方

同
大
万
行ほれむらの峯に志のまろく
こしの夜乃けふせんかも　読人志らず

玉江
摂
金
五月夜ふ玉江乃水やまさるらん
芦の下葉ハかくれ行哉　忠通

同
越前
後拾
夏刈乃玉江に芦をふみしだき
むれゐる鳥の立空ぞなき　重之

高師濱
摂
新勅
大伴のたかしのはまの松か根を
枕にねても家しのばるや　東人

同
イツミ
続古
ゆく浪たかしのはまの浜松に
あまてすへかけて秋ぞもやハ　定家

同山
遠江
新勅
雲はれてすむらんそらに見えぬめり
たかしの山にまかくそなかりける　鎌倉右大臣

高間
大
雲井まてのさくらとみてつるは
高間の山のよそにしつらん　俊成

同
右
拾
よそ見ぬ高間の山の白雲より
わかるゝ袖をいもとまさんかも　人丸

手向山
大
古
つゆはは白雲のかゝるさへ
さもこそみへもちりてけれ　恵慶

同
近
玉
ゆふぐれは白雲の山をふきこして
いつまでにはかりせんかしと越ゆ　坂上郎女

高津
摂
新勅
春の夜の月にむかしや忍ふらん
高津の宮に匂ふ梅か枝　実延法師

高津山
右
続古
あはれなりやもとしられて今宵は
高津の山に月そのこるよ　知民

鞁岡 キ ヲ かりひれ雨宮をみしはつれ みなれつゝこのあけなきなり 紀輔時

鞁滝 摂 たよりくみつゝくれたるそおとなく たゝ山川のおとにそあらなん よみ人しらず

同 ゴ ヒ

浦初嶋 摂 さゞ波の寄るたびごとにみるくさも けさみつしらさうる初嶋 知家

同 イキ きえ見やむその浪風のもらさねて 字かなしかれゝうられたる 家隆

野嶋 近 千鳥啼野嶋か崎の波の上に 月を千鳥たちさわぐなり 兼輔

同 淡 千鳥なくみそはの浦のさゆりなく 淡路の風のふく夜はさむき 俊成

同 陸 同 あまの野をとりさかりの浦風そ ふく秋浦のうへの綱ぞうら 兼輔

大原 山 乙訓郡 姫小松大原山の種なれは ちとせはたゝにまかせてぞみん 拾遺 元輔

同 愛宕郡 はるかすみあるあけぼのにきよらなる ふみもきく大原のさと 式子内

芥川 同 同 さくらの山も雪ふりけむかし芥川の 千世のふる道とはなかりけり 行平

同 葛 けさ見ればとよくこめてとれ芥川の 竹田のさとの霧立ちにけり 読人不知

県路　イツ
新ゴセン
えらみちてあさこえくいつ海や
おきのこ嶋に波のよるかた　従会参官

同　サツ　ヽ
千
さつまかたおきの小嶋に我ありと
おやにはつけよやへの志ほ風　平康頼

玉川　山

同　摂
晒る里は玉川いつとても
夜のまさ衣とうつむ白雲　定家

同　紀
風
忘れても汲やしつらん旅人は
高野の奥の玉川の水　弘法大師

同　近
千
あすもこん野路の玉川萩こえて
色なる波に月やどりけり　俊頼

同　武
秋
玉川にさらす手つくりさらさらに
昔の人の恋しきやなぞ　読人不知

松山　サヌキ
新拾秋
み月夜をかはらぬ光はくしの松山に
ちるとて鹿のこゑ聞よすがし　為重

同　備中
新後拾
十くつり花咲ぬらし松山の
こ末をこゆる峰の白雲　家光

紫野　山

同　大

同　近

袖渡 陸
（新ゴセン）みちのくの袖のわたりの涙川心のうちにながれてぞすむ　相模

袖浦 出
（続ゴセン）君恋る涙は海となりぬれと見る人なしに袖のうらみか　通憲

袖湊 チクセン
（続千）涙そふ袖の湊とたとりみる月もうきねのかけやとりけり　国助

筑摩 近
（於）君にあふつくまのまつりとくせなん つれなき人のなへのかすみん　読人不知

筑摩ノ湯 信
（臣於）いつか湯のもくあかれのあらくもたつ くるしんたしぬ物おもへは　重之

室泊 播
（新於）こゝろさへ室のとまりに吹風に こゑをかけていつる舟人　基俊

室戸 トサ
法性のむろとゝいへと我すめは うゐの浪風よせぬ日そなき　弘法

牟婁郡 キイ
（玉）われたのむ人いたつらになしはてば またくもこえむみくまのゝ神　権現

宇治 大
（万葉）宇治の渡の道もやこなたの浅水底すくて 人のいのちそもの人にゆく　康光

月 ?
（後於）みかのはらわきてながるゝいつみ河 いつみきとてか恋しかるらん　重之

浮嶋ガ原 スルカ
あしたかのすそのあわれに浮嶋の つもりあすれども鳴のみそなく

塩嶋 陸
みちのくはいつくはあれとしほかまの うらこくふねのつなてかなしも　小町

淀 山
まこも刈淀の沢水雨ふれは つねよりことにまさるわか恋 貫之

大淀 イセ
拾 大淀のみそきいくよになりぬらん 神さひにけりうらの姫松 尊澄

淀継橋 摂
後拾 まれにくる淀のつき橋つきせねは たえしと人にこころかくるを 経朝

暗部山 山
古 梅花にほふ春へはくらふ山 やみにこゆれとしるくそありける 貫之

暗部ノ里 近
玉 いつまてか今をくらふのさと人は 世にふることのなからへつゝ 後光

椋橋山 大
拾 五月やみくらはし山のほとゝきす おほつかなくも鳴わたるかな 実方

倉橋川 丹後
続古 梯立乃くらはし川くらの いはのまにしもまたてもかへ 人麿

霞ノ関 武
後拾 いかにしくはるをそむ霞の関もなき 一夜の人をとゝめん 為世

霞浦 ヒタチ
新古 春霞かすみのうらを行舟乃 よそにも見えぬ人を恋つゝ 定家

恐閉 河
支 たゝ居るはいかなる関のおそろしの ふりいてゝ比のこゑとなるらん 俊成

恐山 陸
集 あのおそれ山にさえてもさむる 人の心のかくもこそあれ 兼好

信夫 月
続千 いかにせんしのふの山の下紅葉 しくれにもれて色に出なん 御製

勝間田池　武　彦秋
うへまくこれ池のたへむかしくて
おもかけもなれぬさかのり　宗然

同　作奏

同　大

走井　近　秋
さゝら井ぬきをちつゝもや捐坂の
関引うかゝ文るけの翁　元浦

走湯　玉
いつの国山の高出いつる湯乃
ヅイまや神の志るしなり　後会　志ち

延宝九歳
辛酉七月吉日
吉身屋
西澤庄兵衛板